

会報



令和元年10月の台風19号による沢山川の内水氾濫により浸水した東部地区

写真は昨年10月に台風19号が通過した翌日、上空から沢山川を撮影したものです。写真のように、広範囲にわたり道路が冠水し、田畑や家屋が浸水する被害が発生しました。また、沢山川の堤防も、内水氾濫が生じたことで法面が欠損する被害が見られました。このような被害を受け、昨年12月に実施した長野県への要望の際には、台風により被害を受けた堤防の早期復旧をはじめとする水害対策について要望しました。

今回のような災害は、近年の異常気象下では今後いつ起きるか分かりません。各地区や世帯でも日頃から気象情報等の確認や、いざというときの避難行動について計画する等、災害に対する意識を高めておくことが重要です。

令和元年度活動報告

①第18回定期総会開催

令和元年7月31日、更埴文化会館において、第18回定期総会を開催しました。議事では、平成30年度事業報告・決算報告及び、令和元年度事業計画・収支予算・役員改選等について審議決定しました。

議事の承認後、千曲建設事務所長へ沢山川の治水対策についての要望書を提出しました。



定期総会の様子

②勉強会開催

令和元年9月3日、千曲建設事務所において、沢山川に関する勉強会を行いました。

勉強会には同盟会の役員をはじめとする東部地区関係者が参加し、沢山川を管理する長野県と、沢山川支川や排水機場を管理する市が説明をしました。

県からは、沢山川の堤防強化対策・河川維持工事について説明していただきました。また、市からは今年度より防災情報の伝達方法として導入された警戒レベルについて説明しました。



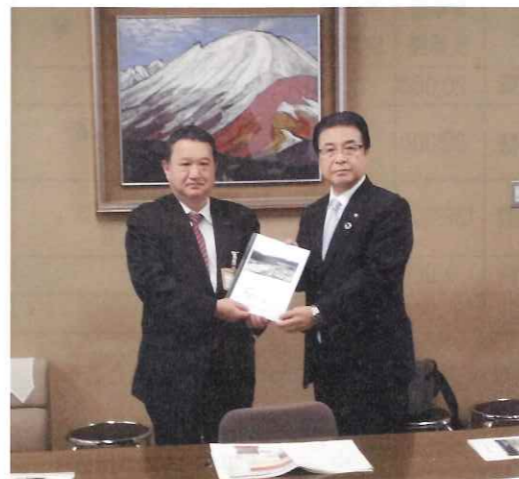
勉強会の様子

③長野県へ要望書を提出

令和元年12月18日、同盟会顧問の竹内正美県議にご同行いただき、同盟会の正副会長ならびに理事が、台風19号被害の復旧を含めた沢山川水害対策に関する要望書を、県の長谷川建設部長へ提出しました。

長谷川建設部長からは、台風被害の早期復旧が最優先として、「特に被害の大きかった箇所への復旧を行う方針で進めている」と回答いただきました。

その後、役員からも長谷川建設部長へ台風時の様子や対応等について説明し、直接地元の声をお伝えすることができ、今後の沢山川の水害対策促進について意義のある要望活動となりました。



長野県への要望 (長谷川建設部長へ要望書を手渡し)

令和元年度事業計画及び予算

令和元年度事業計画

沢山川は、50年に一度の大雨にも耐える設計で、平成2年に河川改修されましたが、平成11年、生萱地区で水害が発生しました。その後、平成14年に同盟会が設立され、平成28年には会長に千曲市長が就任し、活動を続けてきました。

現在は長野県により、定期的な浚渫と、一昨年の台風被害により発生した漏水と思われる現象の原因調査を行っております。

東部地区においても水害を繰り返さないようにするための対策が喫緊の課題となっており、住民が安心・安全に生活するためにも次の事業を行ってまいります。

1. 堤防天端の舗装強化等による粘り強い堤防の整備、計画的な河床の浚渫、および千曲川余裕高までの特殊堤等の整備について、長野県へ要望を行う。
2. 会報等で活動状況の提供を行う。
3. その他(勉強会の開催)

令和元年度収支予算

収入合計 187,046円
支出合計 187,046円
差引 0円

収入の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
負担金	131,260	130,210	1,050	雨宮三地区 1,238戸×70円 森二地区 658戸×40円 倉科地区 457戸×40円
繰越金	55,786	51,605	4,181	
雑収入	0	85	△85	貯金利息等
合計	187,046	181,900	5,146	

支出の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
会議費	20,000	20,000	0	総会等
事務費	30,000	30,000	0	事務消耗品・郵送料
広報・要望活動費	130,000	130,000	0	会報発行・要望費用
予備費	7,046	1,900	5,146	
合計	187,046	181,900	5,146	

平成30年度 事業報告及び決算報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度事業報告

平成30年

- 7月18日 第17回定期総会
- 1. 平成29年度事業報告及び収支決算について
- 2. 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 3. 役員改選(案)について
- 4. 負担金のお願い(案)について
- 5. 要望書(案)について

●8月1日 沢山川水害対策に関する勉強会

●10月31日 長野県へ要望書の提出

平成31年

●2月1日 会報第14号の発行

平成30年度収支決算書

収入合計 180,625円
支出合計 124,839円
差引 55,786円(次年度へ繰越)

収入の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	備考
負担金	130,210	129,020	△1,190	雨宮三地区 1,218戸×70円 森二地区 640戸×40円 倉科地区 454戸×40円
繰越金	51,605	51,605	0	
雑収入	85	0	△85	
合計	181,900	180,625	△1,275	

支出の部 (単位:円 △印:減)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	備考
会議費	20,000	7,049	△12,951	総会等
事務費	30,000	7,940	△22,060	事務消耗品・郵送料
広報・要望活動費	130,000	109,850	△20,150	会報発行・要望費用
予備費	1,900	0	△1,900	
合計	181,900	124,839	△57,061	

関係帳簿及び証拠書類を詳細にわたり監査したところ
正確であることを認めます。

平成31年4月9日

監事 中村 良幸

監事 久保 勝義

令和元年台風19号による被害を受けて



沢山川水害対策促進期成同盟会
会長 岡田 昭雄

日頃は、同盟会活動にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は千曲市政となつてから最大規模の水害に見舞われました。10月に台風19号が日本に上陸した際には、長野県では初の大雨特別警報が発令され、千曲川の水位は杭瀬下観測所において氾濫危険水位を超え、観測史上最高水位を記録しました。

沢山川においても、千曲川の増水による逆流を防ぐため、土口水門を閉鎖しましたが、水門の上部から水が逆流するほどの水位となり、沢山川や支流で内水氾濫が生じ、東部地区の広範囲で浸水被害が発生しました。改めて被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

そのような中で大きな人的被害が出なかったのは、地元区長や消防団による水防活動はもろろんのこと、住民の迅速な避難行動によるものであります。

しかし、住家の被害にあわれた世帯は多く、依然として元の生活環境には戻れていない方もいます。そのような方が一刻も早く元の生活に戻るよう、市としても引き続き支援をしていきます。

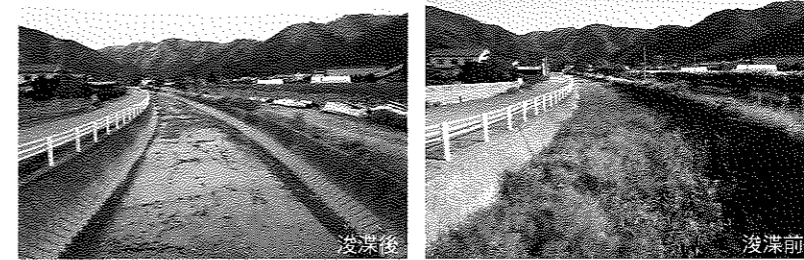
今後も、沢山川関係機関に要望・陳情を重ね、一日も早く地域住民の不安が解消されるよう努力してまいりますので、関係各位並びに区民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。挨拶といたします。

沢山川と東林坊川の治水事業について

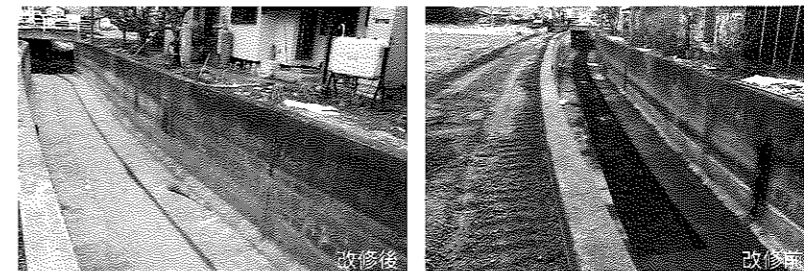
沢山川においては、同盟会で毎年浚渫を要望しており、今年度も、長野県により浚渫作業を実施していただきました。(写真①富士見橋上流)

また、市管理である東林坊川は、改修して流下能力を拡大することにより、五十里川の中流域で雨水を千曲川にショートカットすることができ、一級河川沢山川への集中と五十里川の中・下流域での水害防止にも役立つものと考えています。

平成27年度より整備済み区域(二期)から上流狭あい箇所(二期)を策定し、計画的に工事を実施しております。(写真②昨年度の改修箇所)



写真①沢山川浚渫



写真②東林坊川改修

令和元年度 沢山川水害対策促進期成同盟会役員名簿 (敬称略)

顧問	荒井 武志 (県議会議員)	理事	鎌田 幸男 (雨宮代理区長)
顧問	竹内 正美 (県議会議員)	理事	岡川 勝 (土口代理区長)
常任顧問	原 利夫 (市議会議員)	理事	島田 正敏 (生萱代理区長)
常任相談役	林 愛一郎 (市議会議員)	理事	北原 盛義 (森東代理区長)
常任相談役	倉島さやか (市議会議員)	理事	近藤 公憲 (森西代理区長)
常任相談役	齋藤 正徳 (市議会議員)	理事	倉島 正雄 (倉科代理区長)
参与	和田 英幸 (市議会議員)	理事	富澤 幸正 (前雨宮区長)
会長	岡田 昭雄 (千曲市長)	理事	平林 敏夫 (前土口区長)
副会長	竹内 史朗 (雨宮区長)	理事	野澤 孝幸 (前生萱区長)
副会長	山崎 芳正 (土口区長)	理事	小根澤英児 (建設部長)
副会長	中島 信行 (生萱区長)	理事	竹内 製義延 (前森代表区長)
理事	宮坂 陸三 (森東区長)	監事	高木 俊雄 (前倉科区長)
理事	中沢 公夫 (森西区長)		
理事	岩佐 正幸 (倉科区長)		

事務局 千曲市建設部建設課事業推進係内